



遠心式加湿器

D-505 取扱説明書

- このたびは、遠心式加湿器D-505をお求めいただき、ありがとうございました。
- この取扱説明書には、加湿器に関するご使用上の注意事項が記載されております。
- D-505の機能を十分に発揮させ効果的にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。加湿器の調子がおかしくなったとき、またはわからないことがあったときにお役に立ちます。



△ 使用上のご注意	3
1. 各部の名前とはたらき	3
2. ご使用前の準備	4
(1)付属品を確認してください	
(2)設置場所を選定します	
(3)電源周波数を確認してください	
(4)付属品を取り付けます	
3. 運転のしかた	7
4. より効果的に運転するために	7
(1)湿度を調節したい	
(2)霧の吹き出し方向を変えたい	
5. お手入れについて	8
6. 長時間運転を停止させるには	9
7. 様子がおかしいとき	9
8. 仕様	9



ピーエス工業株式会社

<https://ps-group.co.jp>

東京	渋谷区富ヶ谷1-1-3	TEL 03-3485-8811
名古屋	名古屋市昭和区広路通5-9-3	TEL 052-838-5525
大阪	吹田市垂水町3-16-3	TEL 06-6338-7151
福岡	福岡県福岡市博多区吉塚1-45-33	TEL 092-710-6365
熊本	熊本市中央区中唐人町1	TEL 096-356-2201

ピーエスグループ各社

北海道	北広島市共栄41-3	TEL 011-372-7601
盛岡	盛岡市愛宕町16-5	TEL 019-653-3780
仙台	仙台市青葉区木町通1-2-28	TEL 022-211-5431
長野	長野市若里1-23-11	TEL 026-228-4334
新潟	新潟市西区小針6-61-13	TEL 025-230-6393

■安全上の注意

○<取付及び取扱>は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行って下さい。

○ここにしめした注意事項は   に区分してありますが、誤った取付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを、特に  の欄にまとめて記載しています。しかし  の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。



- ◆メンテナンスをする時は必ず運転を停止して、電源を切して下さい。電源を切らないでメンテナンスをすると、怪我や感電の原因となります。
- ◆コンセントにアース線を取付けて下さい（D種接地工事）。アース線が不完全の場合には感電などの原因になることがあります。
- ◆電源ヒューズの代わりに針金などを使用しないで下さい。万一ヒューズが切れたときは、必ず正しいアンペアの電源ヒューズと交換して下さい。針金や銅線などを使うことは、絶対に避けて下さい。
- ◆電気接続部を濡らさないで下さい。漏電や絶縁不良、故障などの原因になります。
- ◆改修、改造は絶対にしないで下さい。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理に不備があると、水漏れや感電、火災の原因となります。

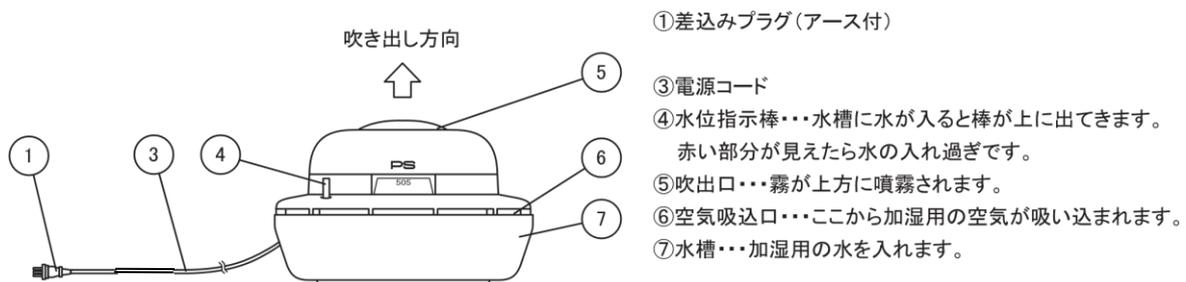


- ◆運転したまま移動しないで下さい。運転中の移動は機械に無理がかかり故障のもとになりますので、おやめください。
- ◆動かす前に水皿の水を捨てて下さい。そのまま動かしますと、水がこぼれて電気絶縁を悪くしたり、床をぬらします。
- ◆運搬する場合は、電源プラグを抜いてから静かに行ってください。
- ◆電源プラグの抜き差しによる運転はおやめ下さい。感電したり、過熱のもとになることがあります。
- ◆停電になったときは、電源スイッチをお切り下さい。運転中に停電になり、電源スイッチをそのままにしておきますと、次に電気がきたときに各種電気製品が同時に始動し、大きな電流が流れ、ブレーカーが動作したり、電源ヒューズが切れることがあります。
- ◆差し込みプラグの抜き差しは、コードを引っ張らず、必ず差し込みプラグを持って抜き差しして下さい。
- ◆吹出口に細い棒などを入れないで下さい。吹出口に細い棒などを入れると、内部の送風機などに触れて大変危険です。
- ◆48時間以上加湿器を停止した場合は、分解清掃を実施してください。水を入れたままにしておきますと、水の汚ればかりではなく病原菌が繁殖する原因にもなります。
- ◆給水には水道法に規定された水質基準に準ずる、20℃以下の飲料水をご使用ください。

⚠ 使用上のご注意

- 水は、水道水をご使用下さい。農薬などの薬品が入った水をご使用になりますと、故障の原因となります。
- 水を補給する時、水位指示棒の赤い部分が出ないよう、注意してください。
赤部分が見えたら水の入れ過ぎです。
- 自動給水タイプの場合、フロートバルブの水位調整を完了してから水を注水してください。
フロートバルブの水位調整を行なわないで水を入れると、水漏れの原因となります。
(水位調整のしかたは、6ページを参照してください)
- 吸込口や吹出口はふさがらないでください。吸込口や吹出口が本や新聞紙その他障害物でふさがれますと、そこに結露してしまい加湿の効果が低下します。
- メンテナンスのときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的(1ヶ月に1度くらいの割合で)に、分解掃除をしてください。吸水管や噴霧プレートが汚れますと加湿効果はもちろんのこと故障の原因ともなります。
- 次のようなときはD-505を室外に移すか、あるいはポリ袋で厳重に保護してください。
 1. 大掃除などでほこりがひどいとき
 2. 消毒、殺菌をおこなったとき
 3. その他製品に悪影響を及ぼすと思われるとき
- 窓や扉などを閉めてください。外の空気が室内に多く流れ込みますと、加湿の効果が低くなります。
扉の開閉回数もできるだけ少なくしてください。
- 屋外や、直射日光のあたるところには設置しないでください。
加湿の効果が無いばかりでなく、異常に温度が上昇して故障する場合があります。
- 長期間運転を停止するときは、差込みプラグをコンセントから抜き、水槽の水を捨ててください。
水をいつまでも入れたままにしておきますと、水が汚れるばかりでなく細菌の繁殖する原因となります。

1. 各部の名前とはたらき



2. ご使用前の準備

(1) 付属品を確認してください

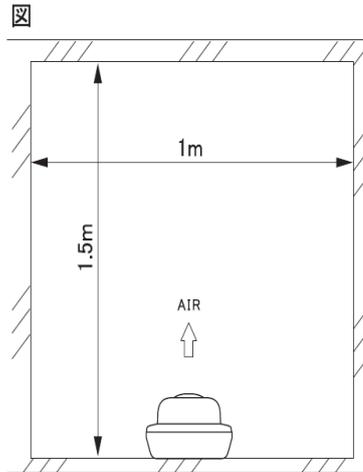
梱包箱を開けて下記のものをご確認ください。

表1.

タイプ	梱包方法		名称	数量
手動給水	本体 梱包箱	袋入り	D-505本体	1
			閉止プラグ (大)	1
			閉止プラグ (小)	1
			ナット (大)	1
			ナット (小)	1
			取扱説明書	1
自動給水	本体 梱包箱		D-505本体	1
	本体 梱包箱		取扱説明書	1
	本体 梱包箱		フロートバルブ	1
	付属品 梱包箱	袋入り	給水用銅管(フレアナット付)	1
			ハーフユニオン	1
			ストップピン用ナット	1
			ストップピン用ワッシャー	1
			オーバーブローホース継手	1
オーバーブローホース用ナット	1			

(2) 設置場所を選定します

- ① 水平な床面または台に設置してください。
振動している所に置くと移動して落下の恐れがあります。
- ② 右図に示す周囲スペースを確保してください。
壁面、天井、家具などに霧がかからないよう注意してください。
- ③ 直射日光のあたる所やストーブの近くは避けてください。
樹脂が変形したり水槽内に菌が繁殖する恐れがあります。



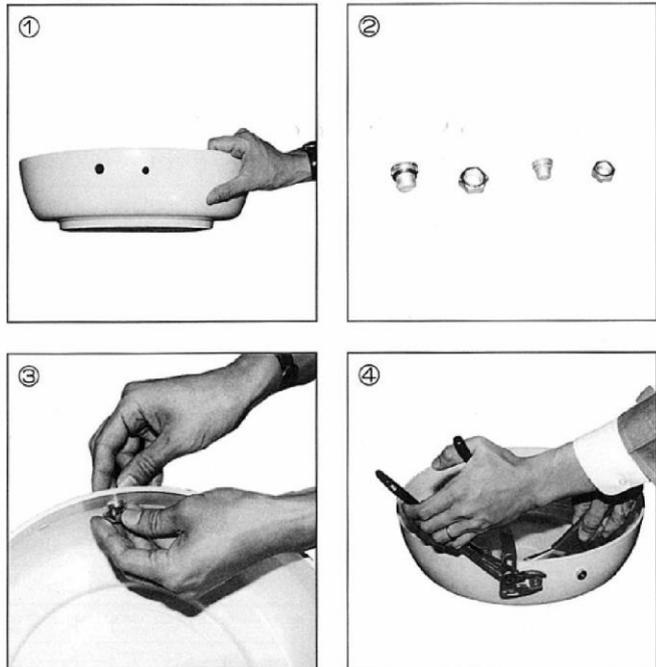
(3) 電源周波数の確認をしてください

D-505は、50Hz用と60Hz用と周波数によって製品が異なります。本体裏側の銘板に記載してありますので、設置する地域の電源周波数と一致しているかどうか確認してください。一致していないと誤作動するばかりでなく故障の原因となります。

(4) 付属品を取り付けます。

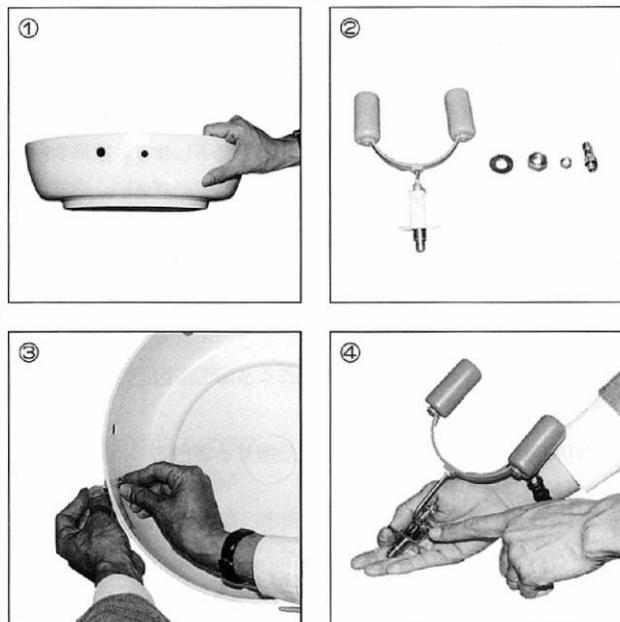
手動給水タイプ

- ①水槽の横に2つの穴が開いていることを確認してください。
- ②左から 閉止プラグ(大)、ナット(大)、閉止プラグ(小)、ナット(小)です。
- ③水槽に開いている2つの穴に閉止プラグを取り付け、ナットで固定します。
大きい穴に閉止プラグ(大)とナット(大)を、小さい方の穴に閉止プラグ(小)とナット(小)を取り付けます。
- ④モンキースパナとプライヤーで固定してください。
締め方がゆるいと水漏れの原因となります。



自動給水タイプ

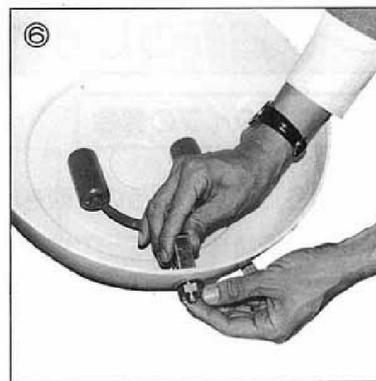
- ①水槽の横に2つの穴が開いていることを確認します。(写真の水槽とは形状が異なります。)
- ②左から フロートバルブ、ストップピン用ワッシャー、ストップピン用ナット、オーバーフローホース継手用ナット、オーバーフローホース継手です。
- ③水槽に開いている小さな穴にオーバーフローホース継手を差し込んで、オーバーフローホース継手用ナットで固定します。
- ④フロートバルブのゴムの切れ目が下向きになっているのを確認します。



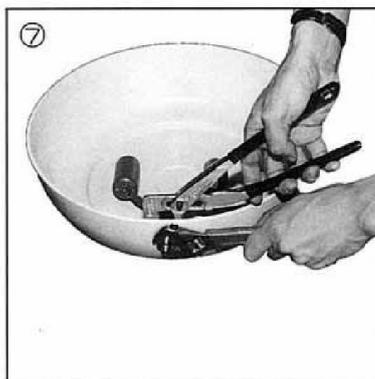
⑤向きが変わらないよう注意しながら、大きな穴の方に差し込みます。



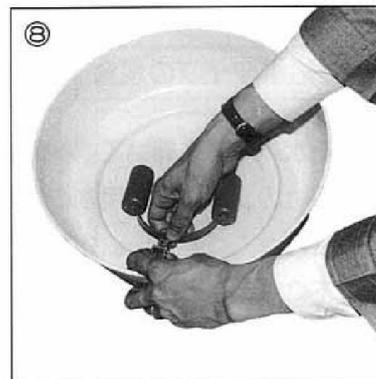
⑥ストップピン用ワッシャーを入れ、ストップピン用ナットで固定します。



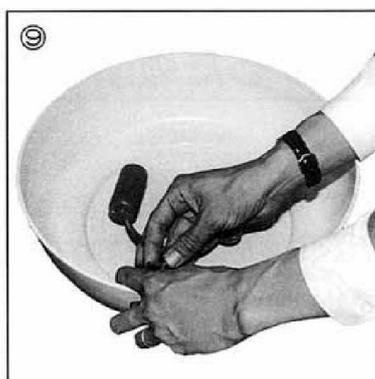
⑦モンキースパナとプライヤーで、しっかり固定してください。締め方がゆるいと水漏れの原因となります。



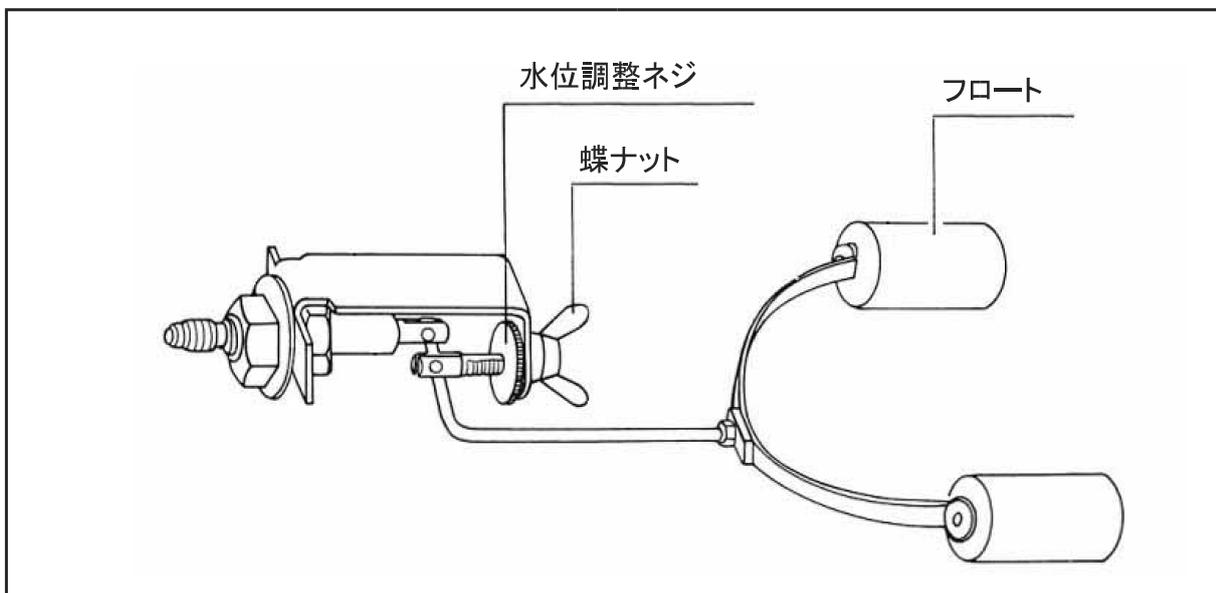
⑧フロートを持ち上げて、水槽の底面と水平になるように調節します。



⑨水位調整ネジを左右に回し、蝶ナットで締め付けて、フロートの高さを調節します。



フロートバルブ 各部名称



3. 運転の仕方

手動給水タイプ

- ① 図5. に示すように、吹き出し口の上から水を入れてください。
- ② 水位指示棒が上に出きます。水位指示棒の赤い部分が見えたら水の入れ過ぎですのでその手前で給水を止めてください。
- ③ 水を入れたら差込みプラグをコンセントに差し込んでください。
- ④ 湿度調節器を使用している時は設定を上げてください。

図.5



自動給水タイプ

- ① 給水バルブを開いて水を入れます。
- ② 6ページの水位調節ネジを回して水位の調整を行なってください。水槽の内側の“MAX.”と書いてある線よりも15mm程度下になるように水位を調整します。
- ③ 水位調整が終わったら差込みプラグをコンセントに差し込んでください。

4. より効果的に運転するために

オプションの湿度調節器（図6）を利用すると、加湿しすぎることがなく、自動的に湿度を調節できます。湿度設定範囲は30～80%RHです。

図6. 湿度調節器



5. お手入れについて

- ① 電源プラグを抜いてください
自動給水型は給水バルブを閉めてください。
- ② 水槽の上のモータを持ち上げて外し逆さに置いてください。
図7参照
- ③ 回転盤を片手で押さえて吸水管を反時計方向に回して
外します 図8参照
回転盤と給水管を水道水で洗ってください。
図9,10参照
金属ブラシや有機溶剤は使用しないでください。
- ④ 水槽をきれいに洗ってください。
- ⑤ 洗った後は水で十分すすいで水をふき取ってください。
- ⑥ 月に一度は3%過酸化水素水（薬局で入手可能）で消毒し
年1回は細菌の検査を行ってください。

図.7



図.8



図.9

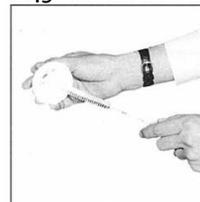
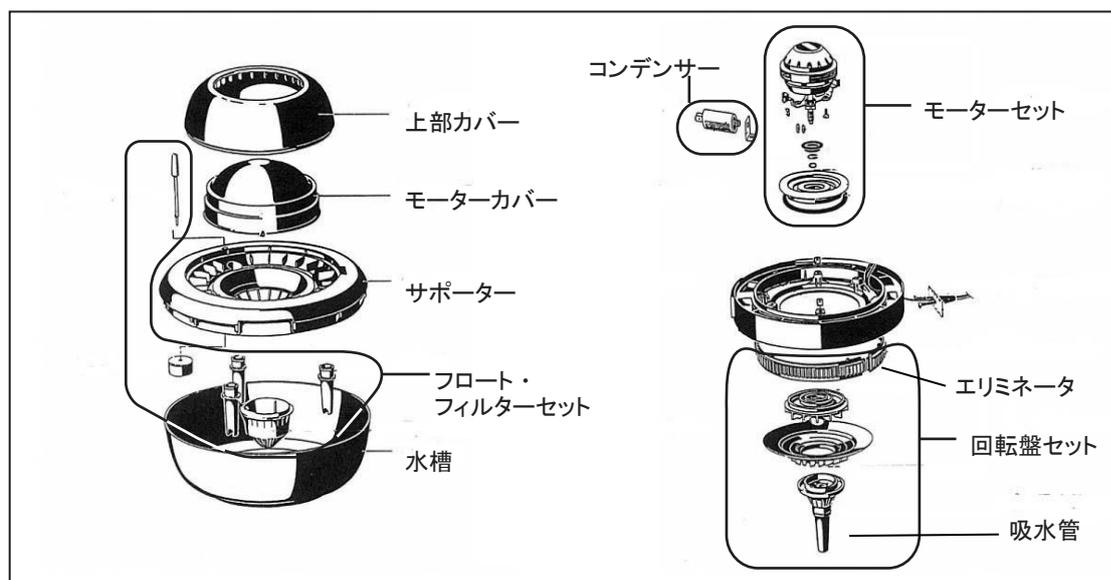
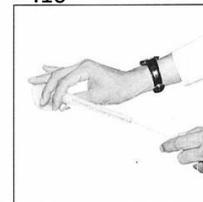


図.10



6. 長期間運転を停止させるとき

水槽内の水を全て捨て、きれいにふき取ってください。

水を入れたままにすると菌が繁殖しますのでご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜いてください。

運転する前に分解掃除を行ってください。5.お手入れについて の頁を参照ください。

7. 様子がおかしい時

症状	原因	対処方法
モーターは回っているが霧が出ない	水槽に水が入っていない	水を入れてください
	吸水管かエリミネーターが汚れている	外して水洗いしてください 7ページを参照ください。
モーターが回らない	電源が来ていない	ブレーカーを確認してください
	モーターかコンデンサが故障している	販売店が弊社までご連絡ください
水が溢れている	水を入れすぎている	水位指示棒の赤い色が見えなくなるまで水を捨ててください。
霧の量が少ない	吸水管かエリミネーターが汚れている	外して水洗いしてください 7ページを参照ください。
騒音が大きい	吸水管か回転盤が緩んでいる	分解後、再組立してください。
	モーターが劣化している	販売店が弊社までご連絡ください

8. 仕様

製品名	D-505
加湿量	0.5 kg/h
電 源	AC 100V 50Hz 又は 60Hz (共通ではありません)
消費電力	40w
風 量	80 m ³ /h
外形寸法	230mm(高さ) ×φ356
運転重量	6.5kg
貯水量	3 L (6時間で空になります)
給水圧力	30~500kPa(0.3~5kg/cm ²)*自動給水型のみ
給水温度	1~20℃
給水水质	水道水 純水 (最大100 CFU/mLで病原体が無いこと)
周囲温度	1~30℃ (衛生上1~25℃を推奨)